

医学研究実施について

当院では下記の研究を実施しております。この研究は水戸協同病院倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究の対象となる方(または代理人の方)で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、お手数ですが下記の連絡先までお申し出下さい。

ただし、対象となることを希望されないご連絡が、研究期間以降になった場合には、研究に使用される可能性があることをご了承下さい。同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【研究課題】

二次性骨折予防(FLS)の活動報告と今後の課題

【研究計画の概要】

○目的

当院は茨城県の県央地域にあり、茨城県の総人口に占める高齢者の割合は30.1%で、全国平均を1.2ポイント上回っている。2025年は32.0%を超え、2040年には38.2%になると予測されている。その中で、2022年(令和4年)の診療報酬改定で大腿骨近位部骨折における「二次性骨折予防継続管理料」、「緊急整復固定加算」、「緊急挿入加算」が新設された。当院でも2022年度、1285件の手術件数を行い、その中で大腿骨近位部骨折は179件と多い疾患である。緊急入院は其中でも、全体の165件であり全体の92%である。今回、二次性骨折予防(FLS)として、2022年4月にFLSスタンダードを基に委員会を開始した。しかし、患者指導や骨折予防の対策がスタンダードに基づき実施出来ているのか、後ろ向き調査により振り返ることで、現状や問題点・今後の課題を明らかにする。

○研究期間

理審査終了後～2026年3月

○対象となる方

骨近位部骨折に伴う緊急入院となった患者を対象とする。【2022年4月～2023年3月】
死亡・予後不良、転院搬送となった患者は研究対象から除外する。

○研究に利用する試料、情報

名化したID、性別、年齢、受傷前情報(受傷前住居・活動性・全身状態・認知度)、疾患情報(骨折の種類)、手術関連情報(受傷日・入院日・手術日・麻酔時間・手術待機時間)、術後の急性期情報(生存状態・褥瘡の有無・内科関与・術翌日立位)、退院情報(退院先・退院日・入院期間・骨粗鬆症治療)、入院から30日・120日・365日時点の再入院の有無・再手術の有無・生存状態・活動性・住居・骨粗鬆症治療などについての情報を使用します。

○倫理的事項

研究では、研究対象者の個人情報及びプライバシーを保護し、研究対象者が特定されないように匿名化を図り十分に配慮する。また、得られたデータはUSBメモリーに保存し、外部への持ち出しを行わない。研究終了まで鍵のかかるところで厳重に管理し、研究終了後は内容を破棄し、紙媒体に関してはシュレッダーで裁断し破棄する。得られたデータは本研究以外の目的で使用することはない。

○その他

研究に参加することで、新たな費用や謝礼金の発生はしない。また、研究に関して開始すべき利用相反も関係ない。

【問い合わせ先】

水戸地域医療教育センター・水戸協同病院 2西病棟 看護部
研究責任者: 米川 和子

電話:029-231-2371(代)